

【科目情報】

授業コード	1FCB405010	科目ナンバリング	FCALAW82005-J1
授業科目名	公法系訴訟実務の基礎		
担当教員氏名	山下 侑士		
開講年度・学期	2022年度前期	曜日・時限	火曜1限
授業形態	講義		
単位数	2単位		

【シラバス情報】

授業概要	「公法系訴訟実務の基礎（第2版）」（弘文堂）や「事例研究行政法（第3版）」（日本評論社）の演習問題、裁判例などを題材として、行政訴訟の実務について講義を行う。行政法一般及び行政事件訴訟法の基礎的な理解を前提とするが、「原告適格」や「処分性」、「公定力」等といった行政法特有の考え方がある概念については、必要に応じて補充的に講義する。
到達目標	具体的な事例をふまえ、理論面だけではなく、どのような事実を抽出し、抽出した事実に対していかなる法的評価を加えて主張を組み立てるべきか、その主張をどのように立証するかといった実務的な視点を持つことができる。 今後更なる行政争訟の活用が期待されているなかにおいて、その基礎を習得することができる。

授業回	各回の授業内容	事前・事後学習の内容
第1回	行政事件訴訟法における訴訟類型について、講義形式での解説を行う。	【事前学習】 講義で取り扱う事例や題材を事前に指定するので、講義を受けるにあたり、事前に、事例の読み込みや検討を各自で行うよう求める。 【事後学習】 講義で指摘した事項を復習すると共に、関連する裁判例等を参照するなどし、各自で基本的理解や思考過程を定着させるよう努めることを求める。
第2回	■ 2回目以降の講義は、 ・「公法系訴訟実務の基礎（第2版）／弘文堂」の各事例 ・「事例研究行政法（第3版）／日本評論社」の各事例 ・必要に応じて、担当者作成の事例（演習問題）や近時の裁判例を検討する。 ■ 2回目以降の講義において取り扱う事例は、講義の終わりに指定する。	同上
第3回	同上	同上
第4回	同上	同上
第5回	同上	同上

第6回	同上	同上
第7回	同上	同上
第8回	同上	同上
第9回	同上	同上
第10回	同上	同上
第11回	同上	同上
第12回	同上	同上
第13回	同上	同上
第14回	同上	同上
第15回	同上	同上
第16回	期末試験	【事前学習】 授業全般の復習を行うように求める。 【事後学習】 試験を通して、各自の学習の進捗度や理解度を 確認する。

成績評価方法	絶対評価 ・講義における質問や議論への参加状況；20％ ・学期末の試験成績；80％
履修上の注意	実務家になったつもりで、事前・事後学習も含め、講義には、出来る限り積極的な姿勢で臨んで頂きたい。
教科書	① 公法系訴訟実務の基礎（第2版）／弘文堂 ② 事例研究行政法（第3版）／日本評論社 なお、教科書は、各自で適宜準備されたい。
参考文献	行政法の基本書、判例集等。
その他	